



フレキシブル集草バスケットキット・延伸フレキシブル 集草バスケットキット

Reelmaster® 3550 シリーズ 46cm カuttingユニット用

モデル番号 03923

モデル番号 03924

取り付け要領

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

▲ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品を使用した場合、ガンや先天性異常などを誘発する物質に触れる可能性があるとしてされています。

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	バスケットガイド	1	バスケットガイドとブラケットを取り付けます。
	バスケットブラケット	1	
	ねじ5/16 x 1/2 インチ	1	
	ロールピン	1	
	左側トーションスプリング 金色	1	
	右側トーションスプリング 黒色	1	
	バスケットのカラー	1	
	ワッシャ3/8 x 7/8 インチ	2	
	ボルト5/16 x 1 1/4"	2	
プラスチックワッシャ	1		
2	スペーサ	2	スペーサを取り付けます。
	フランジロックナット	2	
	ボルト3/8" x 1 1/4"	2	
3	カットオフバー	1	カットオフバーを取り付けます。
	ボルト1/4 x 1-3/4 インチ	4	
	ロックナット1/4"	4	
4	必要なパーツはありません。	-	グラスデフレクタを取り外します装着されている場合。
5	バスケットロッド	1	バスケットロッドを取り付ける。
	バスケットプレート	2	
	フランジねじ5/16 x 1/2 インチ	2	
	硬化平ワッシャ 5/16 インチ	1	
	フランジナット5/16"	1	
	キャリッジボルト3/8 x 1-3/4 インチ	2	
フランジナット3/8"	2		



手順	内容	数量	用途
6	グルーマロッド	1	グルーマロッドキット 別売 を取り付けます。グルーマ無しのユニットの場合。
	ボルト M10 x 1-1/2 インチ	1	
	ワッシャ	2	
7	バスケットアセンブリ	1	カッピングユニットにバスケットを取り付けます。
8	必要なパーツはありません。	-	バスケットの位置を調整します。

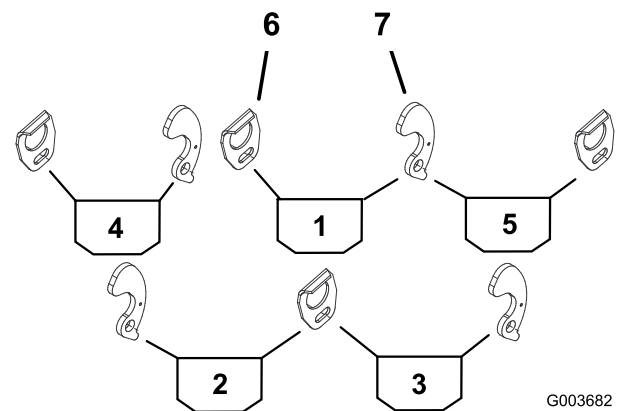
Toro パーツ番号	キットの名称	取り付け可能箇所	必要な数量
03923	フレキシブル集草バスケットキット	後ろの2つまたは5つ全部のカッピングユニット	2 または 5
03924	フロント用延伸集草バスケットキット	前の3つのカッピングユニットのみ	3

1

バスケットガイドとブラケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	バスケットガイド
1	バスケットブラケット
1	ねじ5/16 x 1/2 インチ
1	ロールピン
1	左側トーションスプリング 金色
1	右側トーションスプリング 黒色
1	バスケットのカラー
2	ワッシャ3/8 x 7/8 インチ
2	ボルト5/16 x 1 1/4"
1	プラスチックワッシャ



G003682
g003682

図 1

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 中央バスケット | 5. 右前バスケット |
| 2. 左後ろバスケット | 6. バスケットガイド |
| 3. 右後ろバスケット | 7. バスケットブラケット |
| 4. 左前バスケット | |

手順

1. カッピングユニットをカートンから取り出す。カッピングユニットに同梱されているオペレーターズマニュアルに従って組み立て、希望の設定に調整を行う。
2. カッピングユニットのキャリアフレームにバスケットガイドまたはバスケットカムロックを取り付ける位置については、[図 1](#)を参照のこと。

- 各カuttingユニットの該当する側にバスケットガイドを取り付ける **図 1** ボルト5/16 x 1/2 インチ平ワッシャ3/8 x 7/8 インチを使用する。

注 各コンポーネントは **図 2** のように組み付ける。

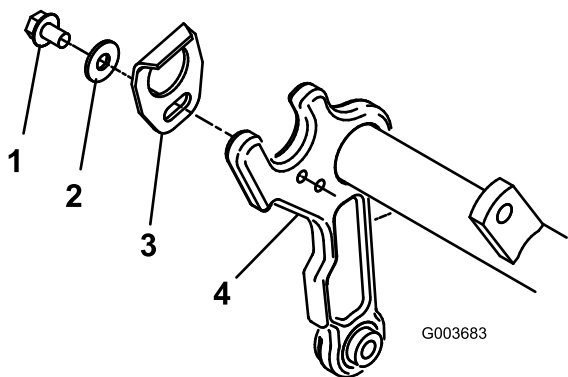


図 2

G003683

- ボルト5/16 x 1/2 インチ
- 平ワッシャ 3/8 x 7/8 インチ
- バスケットガイド
- キャリアフレーム

- 各カuttingユニットのキャリアフレームの該当する側の下穴に、ロールピンを取り付ける **図 3**。

注 ロールピンの端部がキャリアフレームの内側面と面一になる必要があります。

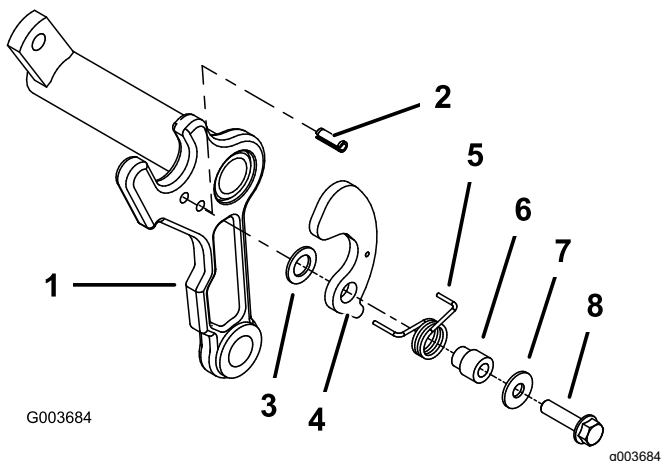


図 3

G003684

- キャリアフレーム
- ロールピン
- プラスチックワッシャ
- バスケットブラケット
- トーションスプリング 図は左用の金色
- バスケットのカラー
- 平ワッシャ 11/32 x 7/8 インチ
- ボルト5/16 x 1-1/4 インチ

- キャリアフレームの、ロールピンが取り付けられている側に、プラスチックワッシャ、バスケットブラケット、トーションスプリング、バスケットカラー、平ワッシャ11/32 x 7/8 インチおよびボルト5/16 x 1-1/4 インチを取り付ける **図 3**を参照。

注 金色のトーションスプリングは、キャリアフレームの左側用、黒色のスプリングは右側用です。

注 スプリングの長い方の脚を、キャリアフレームの前側にして、短い方後側の足をバスケットブラケットの穴に差し込む。

重要 プラスチックワッシャ参照番号3が、バスケットカラー番号6の中心に正しくセットされていないと、ブラケットが正しくロックしなかったり、引っかかったりする可能性があります。正しく組み付けられていれば、ブラケットが前後に回転するときに、プラスチック製のワッシャも滑らかに回転します。

2

スペーサを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	スペーサ
2	フランジロックナット
2	ボルト 3/8" x 1 1/4"

手順

- キャリアフレームの左右それぞれの側で、既存のボルト、ナット、ワッシャ、スペーサを外す (**図 4**)。

注 ワッシャは保管、ボルト、ローラスペーサ、ローラリテーナは廃棄してください。

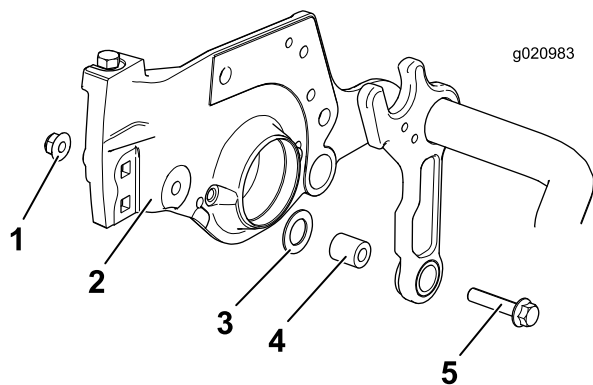


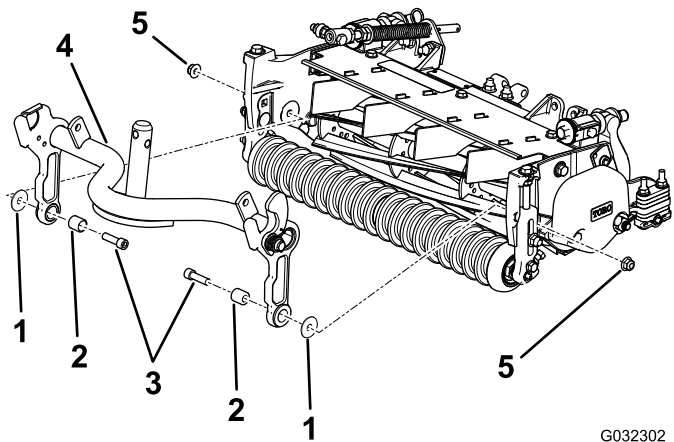
図 4

g020983

- 既存のナット
- サイドプレート
- 既存のワッシャ保管
- 既存のスペーサ
- 既存のボルト

- 同じ場所に、ボルト3/8 x 1-1/4 インチ、新しいスペーサと先ほど外したワッシャを取り付け、キットに入っているナットで固定する **図 5**。

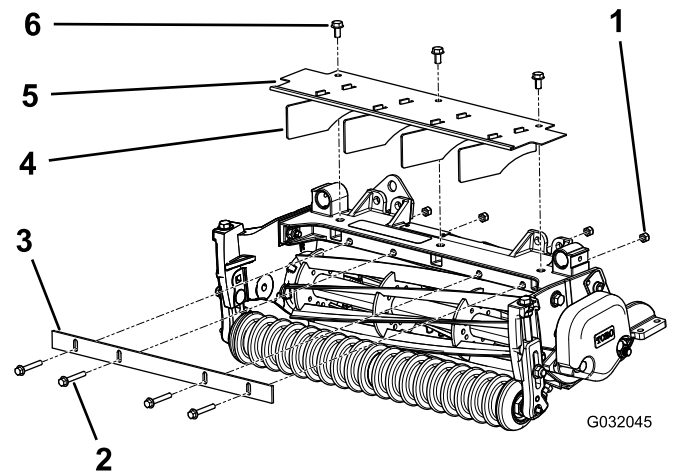
注 ワッシャはフレームとサイドプレートの間に、元のように配置してください。



G032302
g032302

図 5

- 1. ワッシャ先ほど外したもの
- 2. スペーサ
- 3. ボルト3/8 x 1-1/4 インチ
- 4. キャリアフレーム
- 5. フランジロックナット3/8 インチ



G032045

g032045

図 6

- 1. ロックナット1/4 インチ4個
- 2. ボルト1/4 x 1-3/4 インチ4本
- 3. カットオーバー
- 4. デフレクタ4個
- 5. グラスシールド
- 6. フランジヘッドボルト既存3本

3

カットオーバーを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	カットオーバー
4	ボルト1/4 x 1-3/4 インチ
4	ロックナット1/4"

手順

1. カットオーバーをカッティングユニットのフレームに仮止めするボルト1/4 x 1-3/4 インチ4本とロックナット1/4 インチ4個を使用する(図6を参照)。
2. 隙間ゲージ1.5mmを使って、リール上面とカットオーバーの下端との間のすきまを確認する。

注 リールの全幅にわたって隙間の幅が一定となるように調整してください。カットオーバーがリールに接触してはいけません。

3. ボルトとロックナットを締めつける(図6)。

4

デフレクタを取り外す

取り付けられている場合

必要なパーツはありません。

手順

1. グラスシールドをカッティングユニットのフレームに固定しているフランジヘッドボルト3本を外す(図6)。
2. シールドからデフレクタを外す。
3. グラスシールドを取り付ける。

5

バスケットロッドを取り付ける

グルーマのみを装着しているカッティングユニットへの取り付け

この作業に必要なパーツ

1	バスケットロッド
2	バスケットプレート
2	フランジねじ5/16 x 1/2 インチ
1	硬化平ワッシャ 5/16 インチ
1	フランジナット5/16"
2	キャリッジボルト3/8 x 1-3/4 インチ
2	フランジナット3/8"

手順

注 グルーマ搭載ユニットには、バスケットロッドを取り付けません。代わりに、各カッティングユニットにグルーマロッドキットを取り付けます「グルーマロッドキットを取り付ける」を参照。

1. 各前刈高ブラケットにバスケットプレートを取り付けるフランジねじ5/16 x 1/2 インチ、キャリッジボルト3/8 x 1-3/4 インチ、フランジナット3/8 インチを使用する [図 7](#)を参照。

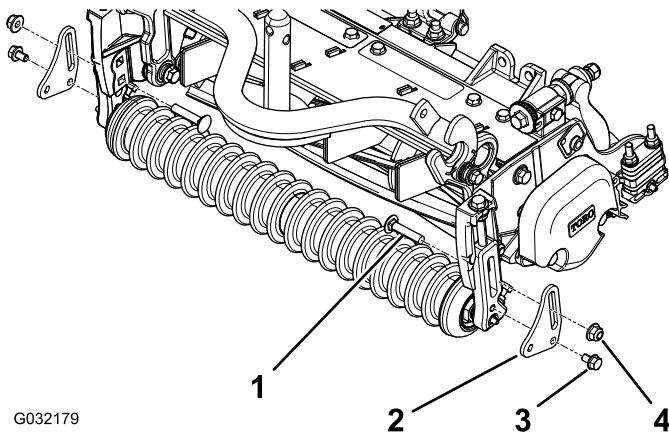


図 7

1. キャリッジボルト3/8 x 3-1/4 インチ2本
2. バスケットプレート2枚
3. フランジねじ5/16 x 1/2 インチ2本
4. フランジナット3/8 インチ2個

2. バスケットロッドのねじ山の無い方の端部をバスケットプレートの穴に差し込む [図 8](#)。

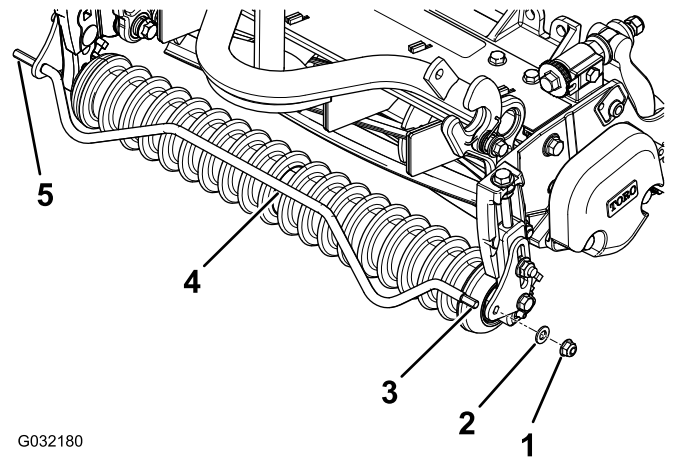


図 8

1. フランジナット5/16 インチ
2. 硬化平ワッシャ 5/16 インチ
3. ねじ切りされた側
4. バスケットロッド
5. ねじ切りされていない側

3. バスケットロッドのねじ山のある方の端部 [図 8](#)をもう一枚のバスケットプレートの穴に合わせる。
4. バスケットロッドを穴に通し、ねじ山側にワッシャとフランジナットを取り付ける ([図 8](#))。

重要 バスケットロッドが前ローラに接触していないことを確認してください。

6

グルーマロッドキットを取り付ける

グルーマのみを搭載しているユニット。キットは別途購入してください。

この作業に必要なパーツ

1	グルーマロッド
1	ボルト M10 x 1-1/2 インチ
2	ワッシャ

手順

注 この作業はグルーマを搭載しているユニットのためのものであり、「バスケットロッドを取り付ける」に代わるものです。

グルーマロッドキット Toro P/N 131-6823は別売品です。弊社代理店よりお求めください。

図 9 のようにキットを取り付ける。

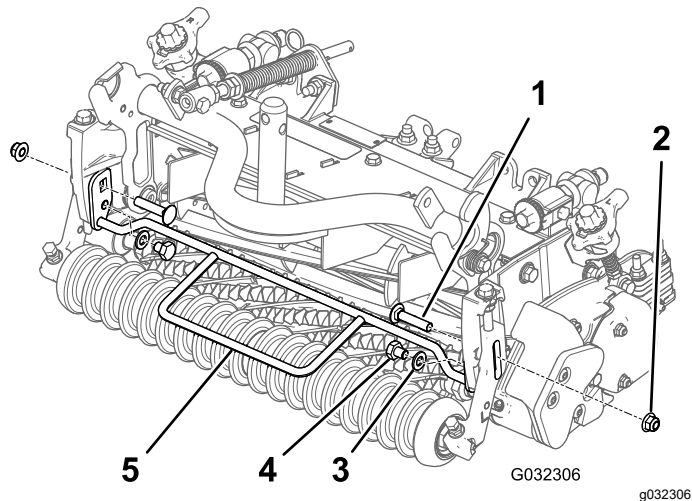


図 9

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 既存のキャリッジボルト2本 | 4. ボルト M10 x 1-1/2 インチ2本 |
| 2. 既存のフランジナット2個 | 5. グルーマロッド |
| 3. ワッシャ2枚 | |

7

カッティングユニットにバスケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	バスケットアセンブリ
---	------------

前カッティングユニットにバスケットを取り付ける

注 前と後のカッティングユニットに標準バスケットモデルI 03923を取り付けることができます。延伸バスケットモデルI 03924は前のカッティングユニットだけに取付けることができます。

キャリアフレームに集草箱を取り付けるバスケット取り付けピンをバスケットガイドに通し、反対側の取り付けピンをバスケットブラケットに押し入れて装着する 図 10。

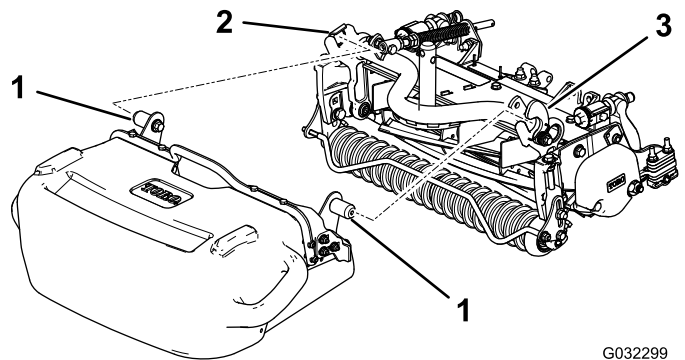


図 10

- | | | |
|----------------|-------------|---------------|
| 1. バスケット取り付けピン | 2. バスケットガイド | 3. バスケットブラケット |
|----------------|-------------|---------------|

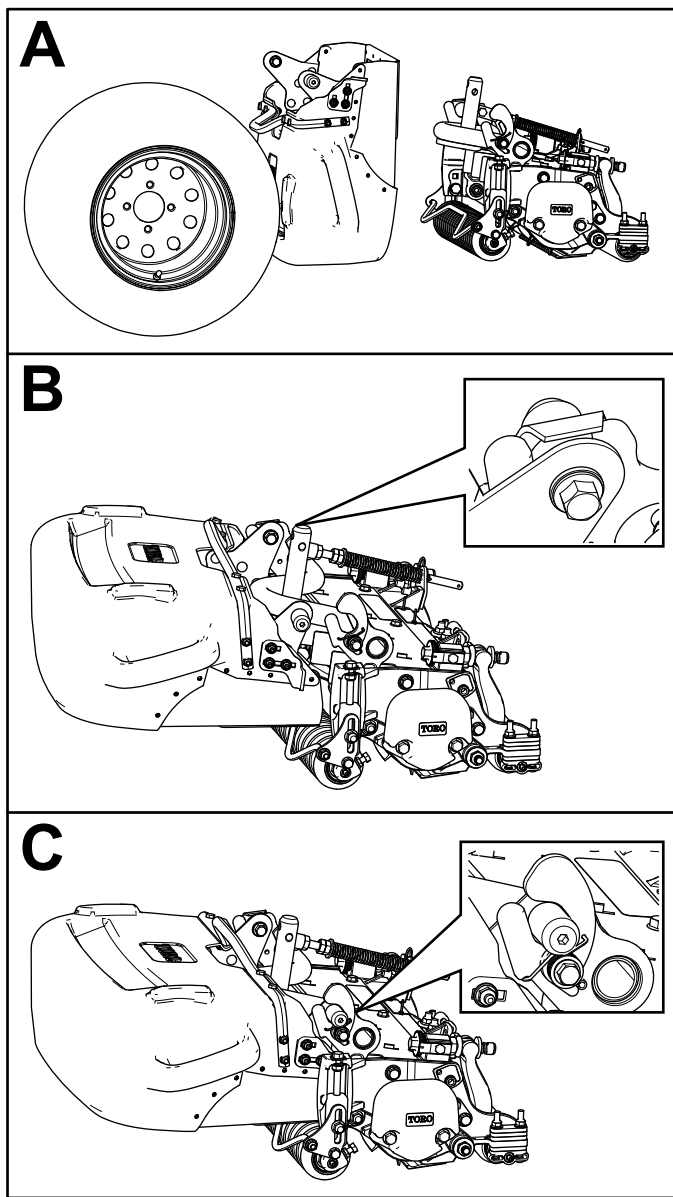
後カッティングユニットにバスケットを取り付ける

注 前と後のカッティングユニットに標準バスケットモデルI 03923を取り付けることができます。延伸バスケットモデルI 03924は前のカッティングユニットだけに取付けることができます。

1. バスケットの口を真上に向け、バスケットを垂直に降ろしてタイヤの内側をかわす 図 11A。
2. バスケット取り付けピンを、バスケットガイドに差し込む 図 11B。
3. バスケットの裏側をもって持ち上げるようにして、バスケットについている内側ストップがキャリアフレームのストップの前にくるようにする。
4. 反対側の取り付けピンを、バスケットブラケットに押し込む 図 11C。

後ろのカッティングユニットからバスケットを外すには

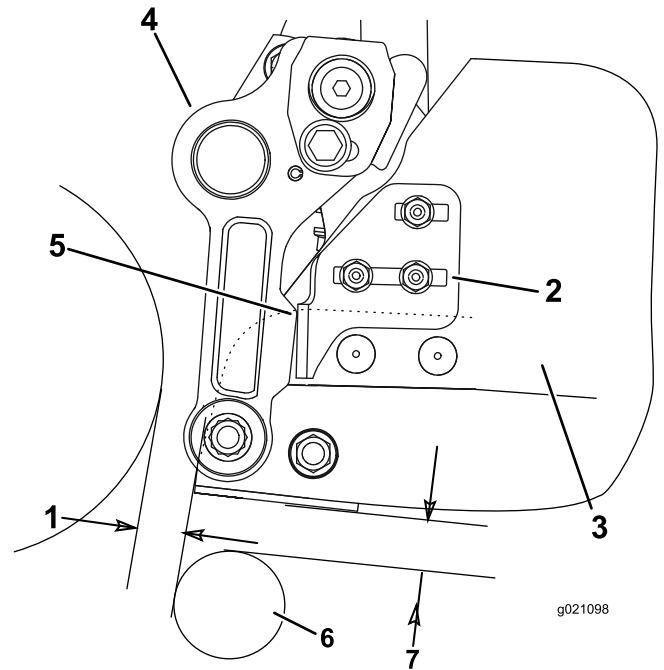
1. バスケットブラケットからバスケット取り付けピンを外す取り付けピンは上向きやや後ろ向きに引き抜くと外れてくる 図 11C。
2. バスケットを少し手前に引くと、内側バスケット取り付けピンがカッティングユニットのバスケットガイドから外れる 図 11B。
3. バスケットの後ろ側を下に押し下げて、バスケットを車体の内側に中心に向かって移動させる。
4. バスケットを車体下側から抜き出す。



G032300
g032300

図 11

- バスケットの左右で、ブラケットストップブラケットをバスケットに固定しているキャリッジボルトのナットをゆるめる 図 12。
- バスケットの位置を調整するカッティングユニットに対してバスケットが平行であり、リールからバスケットのリップまでの距離が少なくとも 6mm あるように調整する 図 12。
- バスケットの左右各側で、それぞれのブラケットストップブラケットがキャリアフレームのアームに接触するように調整する。
- キャリッジボルトのナットを締めてバスケットの位置を固定する。



g021098

g021098

図 12

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 6mm のすき間 | 5. 接点 |
| 2. バスケットストップ用ブラケット | 6. ローラ |
| 3. バスケット | 7. 6mm のすき間 |
| 4. キャリアフレームのアーム | |

8

バスケットの位置を調整する

必要なパーツはありません。

手順

カッティングユニットに対してバスケットが平行であり、リールからバスケットのリップまでの距離が少なくとも 6mm あるように、また、前ローラとバスケットの底部との距離が少なくとも 6mm あるように調整してください。バスケットの位置調整は以下の手順で行います



Count on it.